

つながる EPO ネットワーク

全国 8カ所に設置された
環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動



地域教育力を官民協働で 推進する宇部市

岩見暢浩 (環境省中国環境パートナーシップオフィス)

山口県宇部市は瀬戸内有数の臨海工業地帯として発展してきたが、戦後復興期には深刻なばいじん汚染に悩まされていた。しかし、自分たちの住んでいる地域社会の健康は自分たちで守ろうという自治意識のもと、産・官・学・民連携による調査研究、情報共有と話し合いを重視した「宇部方式」と呼ばれる独自の手法を築き、ばいじん汚染を克服したことで



フィールドを活かした環境教育

国際的にも評価されている。

こうした歴史を持つ宇部市で、少子高齢化や地域としての活力低下で停滞気味の環境保全・環境教育の取組を活性化するため、かつての宇部方式にも通じる産・官・学との連携によって「地域の教育力」の向上を目指しているのが、NPO法人うべ環境コミュニティだ。この取組は2016年度より環境省事業に採択され、EPOちゅうごくが伴走支援を行っている。指導者の発掘・育成、環境学習機会・内容の充実、環境学習拠点との連携を同時多発的に行うこの取組に対し、EPOによる伴走支援では、包括的な課題や目的を共有し、すでに行われている個々の活動に落としこむことや、メンバー間でも捉え方が異なる協働の概念や

ESDの考え方を浸透させるため、外部の有識者・先進事例との接続に重点を置いた。現在は、宇部市が策定した「環境教育・学習ビジョン」実現に向けて、継続的な協議会体制づくりの検討が進められている。また、市の総合公園「ときわ公園」の持つポテンシャルを活用し、宇部市におけるESDの推進を担う施設として環境教育プログラムづくりを行うなど、新たな宇部方式の確立を目指している。

環境省中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく) コーディネーター
岩見暢浩 (いわみ まさひろ)

河川環境、都市デザインのコンサルタント勤務を経て、2006年よりフリーランス。主に地域づくり、景観づくりの現場で各種グラフィック制作を手掛けつつ、2013年より中国環境パートナーシップオフィスに在籍、主に協働取組の支援を行う。

つな環

第31号

2018年3月発行

編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ
<http://www.geoc.jp/>
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164
開館時間：10:00～18:00 (火～金曜)
セミナー開催時は21:00まで
10:00～17:00 (土曜)
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス (関東EPO)
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B1F
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064
業務時間：10:00～18:00
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之 (北路社)
印刷：光写真印刷株式会社

GEOC/EPOからのお知らせ

全国のEPOネットワークが支援事務局を担う環境省協働加速化事業の一環で「協働の仕組—環境課題と地域を見直す取組のプロデュース」を発行し、協働の現場に向けたハンドブックシリーズはこの3冊目で完結となります。また本事業過去5カ年におよぶ知見の集大成として、主に自治体の政策担当者に向けた「環境保全からの政策協働ガイド」も制作し、これら冊子を研修等で活用し、協働取組のさらなる展開に役立てたいと思います。いずれもGEOCホームページでPDFの閲覧可能。



つな環編集部

星野智子、尾山優子、藤原祥子、江口健介、今井麻希子 (順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
<http://www.geoc.jp/information/tsunakan>